

～入院される患者さま、ご家族の皆様へ～

信州上田医療センターは地域災害拠点病院に指定されています



災害拠点病院とは

★地震・津波・台風・噴火などの大規模災害が発生した場合に、被災地域の災害医療体制を支える中核病院です。

被災地域内の医療機関は自らも被災しながら、被災者に対し迅速かつ適切な災害医療を提供する重要な役割を担います。

★被災による多くの傷病者の受け入れ態勢を整える必要があります。

災害拠点病院は、各都道府県知事が指定し、災害発生時において地域全体の災害医療を支える重要な役割を担います。

★災害時には多数の傷病者に対し迅速かつ適切な治療を行うとともに、

災害派遣医療チーム(DMAT)の受け入れと派遣を行う拠点となり、被災地内および周辺の医療機関との連携や調整を図る中核病院として機能します。

災害拠点病院では、医薬品・食料・飲料水に加え、燃料の安定供給体制の確保が求められており、平時から複数の業者や地域の関係団体との協定を締結することで、災害時に優先的に供給される体制を整備しています。



災害発生した際には……



★当院は、耐火・震度6強までの耐震構造となっていますので、ご安心ください。

★もしもの場合に備えて、職員は災害対応訓練を定期的を実施しています。

災害の状況や、病院の被災状況により、次の事項の場合がありますので、予めご了承いただけますようお願いいたします。

★一般外来の中止、中断 ★予定手術の延期

★予定入院の延期 ★退院の促進

- 1、災害発生時や非常時には、職員の指示に従ってください。
- 2、火災報知器が鳴動した場合には、患者さんはいつでも避難できるよう、速やかにタオルなどを用意し待機してください。
- 3、避難開始の指示が出たら、患者さんは落ち着いて職員の指示に従ってください。
なお、自力避難できる患者さんは、できない患者さんの避難協力をお願いします。
- 4、避難する場合は、絶対にエレベーターは使用せず、職員の指示に従ってください。
ご協力よろしくをお願いいたします。

DMAT

「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、災害派遣医療チーム **D**isaster **M**edical **A**ssistance **T**eam の頭文字をとって略して DMAT（ディーマツト）と呼ばれています。

DMAT は、医師・看護師・業務調整員（医師、看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多病状者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね 48 時間以内）に活動できる機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チームです。

厚生労働省 DMAT 事務局ホームページより引用

当院では、令和 2 年 4 月の時点で医師 3 名、看護師 10 名、業務調整員 8 名が DMAT 養成研修を修了し隊員登録されています。

大規模な災害が発生した際は、長野県知事の要請により医師・看護師・業務調整員を含めた最低 4 名以上を 1 チームとして派遣し活動をします。



災害拠点病院

当院は平成 9 年 1 月に地域災害拠点病院として指定されております。

災害時には上小地区（上田市・小県郡）の災害医療の要となり、DMAT や医療機関、消防や行政と連携を図り、傷病者の受け入れや医療活動が行えるように準備を進めています。

長野県には 13 施設の災害拠点病院があり、それぞれ DMAT が配置されています。



活動実績

- 2011年 東日本大震災
- 2014年 御岳山噴火
- 2016年 神城断層地震
- 2016年 熊本地震 *長野県医療救護班として派遣・活動
- 2019年 台風19号災害 上小・佐久医療圏 DMAT 活動拠点本部



DMAT 訓練

災害時に迅速に対応できるように、毎年実施される長野県総合防災訓練・日本DMAT 中部ブロック訓練や、政府主体として実施される大規模地震時医療活動訓練に参加し知識の向上や技能維持に努めています。

